

一般社団法人富山県臨床検査技師会 令和7年度 第2回生物化学分析部門研修会 提示模擬症例

令和7年10月4日（土）富山市民病院 3 階講堂

『臨床化学検査における超基礎的なデータの見方』

～こんなデータを見たら、どうしていますか～

それぞれの症例について、以下の質問について考えてください。

質問1. 注目すべき検査データをあげてください。

質問2. 病態を推測してください。

質問3. 臨床検査技師としてできることを挙げてください。

**症例1 30歳、女性、主訴：立ちくらみ。**

氷を食べたくなることがある。

**症例2 17歳、女児、主訴：下肢浮腫。**

以前、学校検診でタンパク尿を指摘された

**症例3 74歳、男性、主訴：腰痛。**

近医で貧血を指摘された

**症例4 47歳、女性、主訴：意識障害、嘔気、嘔吐。**

20歳頃から動作緩慢となり、40歳頃より起立・歩行困難となる。

北陸大学 医療保健学部 滝野研究室の卒業研究に使用するため、  
事前にアンケートにご協力ください。



	基準値	症例1	症例2	症例3	症例4	
<b>末梢静脈血</b>						
WBC	3,300～8,600	4,900	5,400	6,430	22,000	/μL
RBC	M 4.35～5.55 F 3.85～4.92	4.05	3.78	2.90	4.94	×10 <sup>6</sup> /μL
Hb	M 13.7～16.8 F 11.6～14.8	8.1	11.2	8.1	14.8	g/dL
Ht	M 40.7～50.1 F 35.1～44.4	26.5	33.0	27.0	45.0	%
MCV	83.6～98.2	65.4	87.3	93.1	91.0	fL
Plt	158～348	407	204	140	310	×10 <sup>3</sup> /μL
CRP	0.0～0.14	0.2	0.1	5.3	8.7	mg/dL
T.Protein	6.6～8.1	6.7	5.1	9.3	7.3	g/dL
Albumin	4.1～5.1	4.1	2.7	2.8	4.1	g/dL
AST	13～30	14	25	32	14	U/L
ALT	M 10～42 F 7～23	9	28	27	39	U/L
LD	124～222	304	353	380	205	U/L
ALP	38～113	105	95	85	110	U/L
γ-GTP	M 13～64 F 9～32	9	12	10	12	U/L
Na	138～145	141	143	131	136	mmol/L
K	3.6～4.8	4.9	4.3	3.4	4.5	mmol/L
Cl	101～108	109	106	92	99	mmol/L
Ca	8.8～10.1	9.5	8.5	8.8	5.0	mg/dL
IP	2.7～4.6	3.2	4.6	2.9	5.9	mg/dL
UA	M 3.7～7.8 F 2.6～5.5	3.4	6.9	4.3	17.4	mg/dL
UN	8～20	15	12	19	53	mg/dL
Creatinine	M 0.65～1.07 F 0.46～0.79	0.55	0.50	0.50	1.10	mg/dL
Glucose	73～109			98	586	mg/dL
Fe	40～188	8		98		μg/dL
IgG	861～1,747		775	463		mg/dL
IgA	93～393		144	6,570		mg/dL
IgM	M 33～183 F 50～269		153	6		mg/dL
<b>動脈血</b>						
pH	7.35～7.45				7.191	
Pa CO <sub>2</sub>	35.0～45.0				22.7	mmHg
Pa O <sub>2</sub>	80.0～100.0				105.5	mmHg
HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup>	22～26				8.3	mmol/L
<b>尿</b>						
蛋白			4+		-	
糖			-		3+	
ケトン体					3+	
潜血			2+			